

〈辻佐保子手帳一覧〉

※手帳種類は販売店(書店、文具店)のロゴがあるものについては、Gが「LIBRAIRIE-PAPETERIE/JOSEPH GIBERT/30.BOULEVARD St-MICHEL,26/PARIS-6e」、Pが「L・Humaine Comédie/LIBRAIRIE-PAPETERIE/108/8.RUE DE LOUVOIS/PARIS(2E) RIC.08-08」を指し、無記入はそれ以外を指す

手帳種別*	表題(文中の「/」は改行を示す)	国名(主な地域)	年代	同時期の辻邦生の海外移動記録(佐保子はほぼ全旅行に同行)*
1	《Chaire de Maximien》/ I. / Paris, 3 juin → / S.TSUJI	イタリア(ラヴェンナ)	(1958頃～)	
2	S.TSUJI/Le 26 juillet, 1958 → / Le 11 août 1958 / [II] / à Poitiers	フランス(ボワティエ)	1958/7/26	1957年9月4日、フランス政府保護留学生として横浜からフランス郵船カンボージュ号で渡仏
3	S.TSUJI/[III]/Le 12 août 1958 → / Le 28 août / Italie	イタリア(ピサ、ローマ、フロレンス、ラヴェンナ、ヴェニス、ヴェローナ、プレシア)	1958/8/12～8/28	1958年4月、ジュネーブ、ベルン、チューリッヒへ。7～8月、クレルモンフェランに滞在、この地を拠点にオーヴェルニュ地方を旅行。ボワチエ大学中世文明研究所夏期講座に短期出席後、ニースに滞在。最初のイタリア旅行へ
4	S.TSUJI/Le 6 septembre 1958 → / 9 novembre / [III] / Exp. Miniatures byzantines/Paris - Londres/Exposition de Byzantine Art.	フランス(パリ)	1958/9/6～9/9	
5	S.TSUJI/Exposition Miniatures/byzantines/Le 23 novembre 1958 → / Le 15 août 59 / [V]	フランス(パリ)	1958/11/23～1959/8/15	1959年8月～9月、アテネ、デルポイ、オリンピア、シチリア島をめぐる。この際バルテノン神殿で創作の契機をつかむ
6	G S.TSUJI/Grèce,Sicile / (1959.8-9.) / [VI]	ギリシア、シチリア	1959/8～9	
7	G S.TSUJI/Espagne/Arles Marseilles/Languedoc-Provence/(1960.8-9) / [VII]	スペイン、フランス(アルル、マルセイユ)	1960/8～9	
8	G S.TSUJI/ITALIE/ROME/FLORENCE/ MILAN(1960.10-11) / [VIII]	イタリア(ローマ)	1960/10～11	1960年7～8月、スペインから南フランスを旅行。12月、フライブルグに滞在。チロル地方、オーストリア、ミュンヘン、フランクフルトに滞在
9	ITALIE	イタリア(ローマ、フロレンス/フィレンツェ、ミラノ)	1960/10/17～19	
10	G S.TSUJI/Paris/Belgique/Hollande/ 1960.11 → 1961 sep.oct. / [X] / Rome/ITALIE	フランス、ベルギー、オランダ、イタリア(ローマ)	1960/11～1961/9～10	
11	G S.TSUJI/ITALIE/oct. 1961 → nov. 1961 / [XI] / (RABULA)	イタリア(バルマ、フロレンス、アッシジ、ラヴェンナ、パドヴァ、ヴェニス)	1960/11～1961/9～11	1961年1月31日、マルセイユからフランス郵船ラオス号で帰国
12	G S.TSUJI/Paris/Munich-Vienne/Liste des microfilms/Photos. Miniatures/cottes. Biblio Micros etc./nov. 1961 → / [XII]	フランス(パリ、ヴィエンヌ)、ドイツ(ミュンヘン)	1961/11	
13	G Le Caire/Istanbul/déc. 1961 → / [XIII]	エジプト(カイロ)、トルコ(イスタンブール)	1961/12	
14	G S.TSUJI/[XIV]	参考文献や論文要旨、学会、学習院短大での講義題目	1961/4～	
15	(XV) / SUISSE / ITALIE-ESPAGNE / 1966. juillet-août / S.TSUJI	スイス、イタリア、スペイン	1966/7～8	
16	(XVI) / LONDON/OXFORD/Sep. 1966 / S.TSUJI	イギリス(ロンドン、オックスフォード)	1966/9	
17	ALLEMAGNE/BUDAPEST/ 1969 / S.TSUJI	ドイツ(ケルン)、ハンガリー(ブダペスト)	1969/7～9	1968年7月、地谷雄高とソビエト経由で渡仏。プラハ、東西ベルリン、ミュンヘン、北欧、イタリアを旅行後、翌年9月までパリ滞在。1969年4月、プルトーニュ地方一周旅行。5月、イタリア旅行。6月、北フランス旅行。7月、ベルギー、ドイツを旅行。8月、北杜夫とスイスのキルヒベルクにあるトーマス・マンの墓へ
18	G PARIS/ITALIE/ 1969 / S.TSUJI	フランス(パリ)、イタリア(ナポリ、フィレンツェ、リミニ、ウルビーノ、ローマ)	1969/10	
19	ESPAGNE/ 1969 / S.TSUJI	スペイン	1969/10/6～11/3	
20	P Projets d'études pour/ 1971 / Sahoko TSUJI	I 論文(予定) / II 翻訳(予定) / III 講義(予定) IV Xerox copie (雑誌) / V 単行本論文リスト / 1971年(TOKYO)用	1971	
21	G 1971-72-73-74 / (名大関係メモ)	講義、研究室、図書、教授会、大学院	1971～74	1972年10月、北杜夫とドイツ旅行
22	G 1973 / PARIS-Bourgogne/ITALIA (Lombardia) / ENGLAND (East Anglia/New Northumbria)	フランス(パリ、ブルゴーニュ)、イタリア(ロンバルディア)、イギリス(エディンバラ、スコットランド)	1973	4月、パリ滞在(～9月)。8月、イタリア、イギリス、ブルゴーニュ地方等を旅行
23	P Projets d'études pour/ 1973-74 / Sahoko TSUJI		1973～74	
24	Voyage aux Indes/ 1974-75 / SAHOKO TSUJI	インド(ボンベイ、オーランガバット、アジャンタ、パッサール、カンチ、ポパール、デリー、アグラ、カジュラホ、ベナレス、バトナ、ラジギール、ブダガヤ、カルカッタ)	1974/12/21～1975/1/4	1974年12月から翌1月まで仏教遺跡の見学のためインド滞在
25	Tunisia / Algérie/Liban/ 1975 (mars-avril) / S.TSUJI	チュニジア、アルジェリア、レバノン	1975/3～4	3月、北アフリカの古代遺跡や美術館へ
26	(1)フランス Loire-Auvergne/ Velay-Provence/ (2)ドイツ Hildesheim-Idensen/Lübeck-Husum/ (3)ドイツ Reichene au Goldbach/Kampel/ (4)イタリア Roma-Napoli/Pompei-Syracusa-/Piasta-Aoueria/その他学会(Vat.)名大メモの一部あり / 1975 / juillet-octobre / S.TSUJI	フランス(ロワールオーヴェルニュ)、ドイツ(リュベック、フーズム、ライヒェナウ、ゴルトバッハ)、イタリア(ローマ、ナポリ、ボンベイ、シラクサ)	1975/7～10	7月、パリ滞在(～10月)。8月、中部・北ドイツへ旅行。9月、スイス、ナポリ、シチリアへ
27	(Sculpture Romane) / projet et Nous / II / 1975 / S.TSUJI / France Loire-Auvergne/etc./Allemagne Idensen/ Hildesheim	フランス、ドイツ(イテンセン、ヒルデスハイム)	1975/8～9	
28	1. Projet d'études / 2. Livres à commandes / 3. articles à lire / 1975-76 / Sahoko TSUJI		1975～76/5	1976年2月、パリ経由シリアに旅行。6月、タヒチ等南太平洋の島々をめぐる
29	GRÈCE/YUGOSLAVIA/ 1976 sep./SAHOKO TSUJI	ギリシア(アテネ、サロニキア)、ユーゴスラヴィア	1976/9/2～11	9月、ギリシア、ユーゴスラヴィアを旅行。11月、井上靖と日本作家代表团の一員として中国を旅行
30	RUSSIE/ I. / 1977 mai / S.TSUJI	ロシア(モスクワ、キエフ、レニングラード、ノヴォゴロド)	1977/5/15～30	
31	Voyage en Russie/ II / 1. プーシュキン びざンチン展 / 2. トレチャコフ イコン / 3. ルマゴレフ美術館 (C・) / 1977. mai	ロシア	1977/5/15	5月、ソビエト旅行。6月までパリ滞在
32	VICQ-BRINAY/ 1977. juin / S.TSUJI	フランス(ヴィック、ブリネイ)	1977/6/1～	
33	1. Projets d'études / 2. articles à écrire / 3. livres à acheter / 1977-78 / Sahoko TSUJI	(1) 講義 / (2) 日本語訳案 / (3) 研究テーマ / (4) フランス語出版	1977～78	1978年10月、パリ滞在(～11月)。ポーランドを旅行。11月、ナント、ラ・ロシュエル、アラス等を旅行

★1979年以降の邦生の移動記録は「1980年6月、パリ滞在(～翌6月)。7月、イタリア、スイス、ドイツを旅行。9月、イタリア、スイスを旅行。10月、ブルゴーニュへ」。1981年1月、パリ滞在(～6月)。4月、ノルマンディ、プルトーニュを旅行。5月、ブルゴーニュへロマネスク美術探訪の旅。この後スイス旅行。9月、パリ滞在(～10月)。スペインを旅行。1982年3月、パリ滞在(～4月)。9月、パリ滞在(～10月)。1983年3月、トルコを旅行後、パリへ(～4月)。ノルマンディ地方を旅行。1984年3月、パリ滞在(～4月)。プルトーニュ地方、ベルギーを旅行。11月、パリ滞在(～12月)。ヴェルサイユへ。1985年6月、パリ滞在(～7月)。7月、マリ、セネガル等を旅行。1986年6月、パリ滞在(～10月)。スイス、イタリア等を旅行。1987年4月、パリ滞在(～5月)。7月、イタリア中部を旅行。10月、プルトーニュ、ロワール、南フランスを旅行。1988年6月、シチリアを旅行。1990年3月、パリ滞在(～4月)。ヴァランセー、ノルマンディ地方へ旅行。9月、パリ滞在(～10月)。ドイツを旅行。1991年9月、パリ滞在(～10月)。1992年9月、パリ滞在。帰途ニューヨーク滞在。1994年3月、パリ滞在(～4月)。ブルゴーニュ地方、ベリール地方を旅行。12月、パリ滞在(～翌1月)」と1994年まで多数回に及ぶ。「高原文庫」第24号(軽井沢高原文庫、平成21年7月)より抜粋し、追記

辻佐保子の手帳 — 邦生の手帳と比較して

辻佐保子の手帳は、昭和46年(1971)から急速する平成23年(2011)まで住んだ高輪宅にあった彼女の書斎の机の引出しから発見された。手帳は、フランス政府給費留学生として渡航した昭和33年(1958)にはじまり、昭和53年(1978)までの20年間に使用されたもので33冊に及ぶ。これらには、旅先で見た美術作品に対する感想や的確なスケッチがぎっしりと書かれている。佐保子の約60年間にわたる美術史研究者としてのスタートを飾るにふさわしい貴重な記録と言えよう。佐保子がいかに早くメモをとったかは、夫で小説家・辻邦生と邦生の旧制松本高等学校時代からの親友で小説家の北杜夫の対談で速記を務めたエピソードからも伺える。

また、当館収蔵の辻邦生関係資料には佐保子が使用した手帳と同型の手帳が現時点で30冊発見されている。これらは邦生の書斎机上に置かれた木箱の中に収められていたため、すぐに彼のものと判別が付きにくいが、両者は筆跡がよく似ており一見するだけでは佐保子と邦生の手帳の判別は付きにくい。邦生の手帳については、内容を確認し同定していく必要があるが、作品の構想、小説のプロット、登場人物のイメージなどが書かれているのが特徴だ。いわゆる創作の〈タネ帖〉、別名〈打出の小槌〉として使用していたものや創作の原動力になった〈旅〉の記録でもある。邦生は、昭和56年(1981)以降平成6年(1994)まで、ほぼ毎年渡仏し、フランス国内やイタリア、スイス、トルコ、ベルギー、マリ、セネガル等を訪れている。ほとんどの旅に佐保子は同行しているため、この期間の佐保子の手帳も存在する可能性がある。今後も調査を進めたい。

(学習院大学史料館学芸員/プロジェクト共同研究者: 富田ゆり)

ミュージアム・レター第44号

令和3年(2021)2月15日発行

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

電話 03(5992)1173

FAX 03(5992)9219



Gakushuin University Museum of History
学習院大学史料館

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>